

各（総合）振興局建設管理部長 様

建設部建設政策局維持管理防災課長

台風第17号接近に伴う防災態勢の強化について

札幌管区気象台の発表によると、北海道地方では、台風第17号は23日夜には暴風域を伴って北海道に接近し、24日にかけて温帯低気圧の性質を帯びながら勢力を維持して北海道付近を通過する見込みです。

北海道地方は、23日昼頃から風が強まり、24日にかけて広い範囲で暴風となり、海は大しけとなる見込みです。台風は速度を上げながら近づきますので、急激に風が強くなる見込みです。

暴風や高波への対策は、22日中、遅くとも23日昼頃までにはとって頂くようお願いいたします。

また、雨については、23日から24日にかけて大雨になるおそれもあります。大雨による土砂災害、河川の増水に伴う氾濫、道路の冠水や倒木による交通障害、暴風及び高波などに対し、厳重な警戒が必要となりますので、次の事項に留意し、防災態勢に万全を期すようお願いいたします。

特に、昨年の胆振東部地震に伴い、土砂災害が発生した箇所等では、大雨によって二次災害の発生が懸念されることから、早めの対応をするなど、より一層の強化を図るよう徹底してください。

記

- 1 部局内や関係機関との情報の共有や確実な伝達体制の確認を徹底すること。
- 2 各気象情報等を十分注視するとともに、休日、時間外の対応となることから、配備要員や防災資機材などの事前確認、更に必要に応じた応援体制などについても事前準備を徹底すること。
- 3 工事現場の関係者等へ河川の増水や氾濫、土砂災害などについて注意喚起を徹底すること。
- 4 暴風・高波に伴う越波による海岸施設への影響や、工事現場での資材・看板の飛散などのおそれがあるため、関係者等へ注意喚起を徹底すること。
- 5 倒木発生のおそれがある路線などで通行規制を行う場合には、夜間の実施を避けるなど、早めの対応を検討すること。

施設防災グループ
主査（防災企画）渡邊
内線 29-771